

歩道に植栽

東初石3・4丁目 市道両側400m

決めるのは地元自治会・住民です



日本共産党市議会議員

小田 桐たかし



上】植栽したら、小学生2人でも「十分」な広さがあるのでしょうか。
下】マルエツ近くでは植栽のために行き違いも難しくなっています。

「歩道が狭くなる」「管理もせず、枯らしているのに…」
いま流山市では、「緑視率」（目に入る緑の割合）を高めようと道路の植栽に力を入れています。その一方で、管理に手が回らず、人手不足：次々枯れてしまい、そのうえ維持管理費は道路植栽だけで5年間で2・6倍化：1億3千万円にも。

予算化したといっても、最終的な工事は、地元の住民や自治会の了承を得るべきです。歩道の広さ、利用実態を無視した上からの押し付けでは、良い街は出来ませんし、「1円まで活かす」という市長公約に傷が付きまます。